



2024年3月8日

各 位

会 社 名 今村証券株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 今村 直喜  
(コード：7175 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 吉田 栄一  
(TEL 076-263-5222)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年3月8日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状の分析・評価を行い、改善に向けた今後の方針を以下のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 現状の分析・評価

当社の2023年3月期におけるROE（自己資本利益率）は、当社が考える資本コストに届きませんでした。2021年3月及び2022年3月期においては、いずれも資本コストを上回る水準でありました。直近3年間の平均ROEにおきましては、9.27%と資本コストを上回っております。一方、PBR（株価純資産倍率）につきましては、2014年の上場以来1倍割れが続いており、株価は割安な水準で推移しております。これは、当社の中長期的な成長性に関して、株主や投資家の皆さまからの理解や評価を十分に得られていないことが要因であると考えております。

決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
営業収益 (百万円)	4,973	4,510	3,831
当期純利益 (百万円)	1,205	941	608
1株当たり当期純利益 (円)	226.68	176.97	114.32
1株当たり純資産 (円)	1,862.98	1,995.84	2,080.11
期末株価 (円)	873	947	752
ROE (%)	13.04	9.17	5.61
PBR (倍)	0.47	0.47	0.36
1株当たり配当金 (円)	40	35	35
配当性向 (%)	17.6	19.8	30.6

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、1株当たり純資産、期末株価及び1株当たり配当金を算定しております。

## 2. 今後の方針

当社は、以下の取組みを着実に実行し、資本コストを上回る資本収益性を達成することで、ROE及びPBRの向上を目指してまいります。

### (1) 成長性及び収益性の向上

当社は、新たなサービスや商品の導入を積極的に行うとともに、優秀な人材の確保や育成等の人的資本への投資も積極的に実施し、加えて、証券業界では数少ない自社開発・自社運営の情報システムを更に充実させることで競争力の強化を図り、成長性及び収益性を向上させます。

### (2) 株主還元の強化

当社は、剰余金の配当について、配当性向35%を目安とするとともに、中間配当及び期末配当の年2回配当を基本的な方針とし、株主の皆さまへ安定かつ充実した利益還元を行います。また、当社株価や財務状況を総合的に勘案し、必要に応じて自己株式の取得を機動的に実施します。

### (3) IR活動の強化

当社は、ホームページ内容を充実させ、これまで以上に積極的な情報開示を実施するとともに、会社説明会等を通じて株主及び投資家の皆さまとの対話を促進します。

以 上